

長年にわたる功績をたたえて 総務大臣、白鷹町長より感謝状を贈呈

4月25日、行政相談委員としてご尽力いただきました樋口久子さん（高岡）にこれまでの功績をたたえ、法務大臣と白鷹町長より感謝状が贈呈されました。

行政相談委員は、国の行政機関、独立行政法人、特殊法人の業務など役所の業務に対する苦情、要望、意見等の相談を住民の皆様より受け付け、相手機関との間に立って、相手機関の自主的な改善が促されるよう働きかける仕事をしています。

樋口久さんは長年にわたり住民の相談窓口として、行政サービスに関する苦情や問い合わせの受付、改善の促進などに尽力され、このたび表彰となりました。また、平成30年には東北管区行政評価局長表彰を受賞されています。



感謝状を手にする樋口さん（中央）

白鷹ロータリークラブより 新庁舎落成記念として時計2基を寄贈

5月15日、白鷹ロータリークラブの三浦信英会長と岡崎鹿造さんが来庁され、新庁舎の落成記念として壁掛け電波時計2基の贈呈式が町長室で行われました。

白鷹ロータリークラブは「親睦」と「奉仕」を目的に、様々な活動に取り組まれている団体です。寄贈いただいた時計は町民のかたが多く訪れる1階窓口フロアと中央公民館入口に設置させていただきました。ありがとうございました。



寄贈された時計



目録を手渡す三浦信英会長（中央）と岡崎鹿造さん（左）

愛する我が町の環境を守るために しらたかFACTORYによる清掃活動

5月30日、「白鷹ごみゼロの日」にあわせてしらたかFACTORYの利用者3人が国道348号線周辺でゴミ拾いを行いました。

しらたかFACTORYは、年に3回以上清掃活動を行っています。今回のゴミ拾いでは、煙草の吸殻やペットボトル、弁当の空き箱など、細かい物から大きな物までくまなく回収しました。約1時間の活動でバケツ3杯分とビニール袋1袋分のゴミが拾い上げられ、拾った後は洗浄し、分別まで行い活動終了。参加した利用者は「まだまだポイ捨てが行われている。意識の改善をしてほしい」と話しました。



草陰に隠れているゴミもくまなく拾い上げた

新庁舎・中央公民館オープン 開庁式を行いました

5月7日、新庁舎1階町民ラウンジにて開庁式が行われ、各地区区長をはじめ白鷹町議会議員、工事関係者など約50名の参加をいただきました。

はじめに開庁安全祈願が行われ、その後佐藤町長があいさつを述べ、最後に佐藤町長ら関係者がテープカットを行い門出を祝いました。

また、白鷹町森林再生木材コーディネーターの吉田博之さんより施設の概要説明をしていただき、閉会後に関係者らは施設の見学を行いました。

新庁舎の特徴の1つとして、町民ラウンジやミーティングスペースを設置し行政機能だけではなく、町民活動の拠点ともなるように設計されています。今後、行政と地域がさらに一丸となって町づくりが行われるための拠点として利用されます。



安全祈願の様子



テープカットの様子

旧庁舎に感謝の気持ちを込めて 閉庁式を行いました

5月8日、旧庁舎1階ロビーにて閉庁式が行われ54年の歴史に幕を下ろしました。

旧庁舎は昭和39年より開庁し、これまで町の中心拠点として活用されてきました。しかし、平成23年に発生した東日本大震災により、耐震性が問題視され、当初は庁舎の補強・改修での対応が考えられましたが、補強しても耐用年数が伸びることはなく、石綿等の問題もあることから再整備の検討がなされました。そして、平成25、26年と2年連続で甚大な被害をもたらした豪雨災害により、防災機能が備えられた拠点整備の必要性が高まったことからまちづくり複合施設の構想が始まり現在に至ります。

旧庁舎については、5月中旬頃より解体作業が始まっており、今後はその土地を来庁者用の駐車場として活用していく予定です。工事期間中、ご不便をおかけいたしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。



旧庁舎の全景



閉庁式の様子